

平成26年度第2回会議での主な意見、感想 (デマンド交通に関するアンケート調査)

1 運行の趣旨、必要性	
(1)	単身世帯や夫婦のみ世帯は、半分を超える割合になっている。今後も増えると思うので、デマンド交通は、一定の価値、必要性があると思う。
(2)	<p>デマンド交通を使わないと外に全然出られないような方にとっては、自宅まで迎えに行くようなことが必要でしょうし、逆に、自由に外に出られる方は、公共乗降所まで出てきてもらうような違いがあつても良いと思う。</p> <p>また、行きはデマンド交通を使い、帰りはタクシーで帰ってくるとか、別の場所に寄り道をして他のルートを通って帰ってくるとか、いろいろな使い方があると思う。</p> <p>今後どういう料金体系やサービス体系にしていったらいいかを、この会議で議論していけたらいいなと思う。</p>
(3)	デマンド交通は、体が不自由な人とか高齢者、外出が不可能な人のための交通手段だと、私は思う。それが健康な人ばかり利用してしまうと、これまた大変なことになってしまふと思う。
2 運行区域	
(1)	菖蒲地区では、市内の久喜駅や久喜総合病院まで運行して欲しいということをよく聞く。
(2)	加須市が運行するデマンド型乗合タクシーは、大利根地区の方の利用が多い栗橋駅西口に乗り入れをしている。他の地域のことも参考にしてはどうか。
(3)	栗橋地区から久喜地区のイトヨーカ堂やふれあいセンター久喜への利用はできない。運行区域を拡大していただけたらありがたい。
(4)	鷺宮地区では、距離的に近い久喜総合病院までは運行して欲しいという要望をよく聞く。
(5)	運行区域を拡大すると、例えば、菖蒲地区から久喜駅まで延長すると往復で40分かかる。それだけ時間を要することになり、それ以外のデマンド交通を使いたい人が使えなくなってしまう可能性が生じてくる。この会議では、そこまで考えなければならない。
(6)	アンケートで、菖蒲、栗橋、鷺宮地区の病院や日常生活に必要な場所には、何としても行って欲しいという声がある。今後、それを見ていかなければならぬ。
(7)	デマンド交通を遠くまで延ばすことも必要かもしれないが、健康な人は、市内循環バスのことも考えて久喜駅まで来て、そこから総合病院に行くバスに乗換える、そういう利用方法もしていただくのも大切なのではないかと思う。
(8)	鷺宮・栗橋の方は、アリオ鷺宮、駅、病院などへの移動が、デマンド交通が運行したため利用しやすくなつたことは事実である。

	なお、市内循環バスは、菖蒲地区では、民間路線バスと接合する形になっているが、内容はいまひとつではないか。
3 民間交通事業者への影響に関すること	
(1)	市内交通事業者へのアンケートでは、デマンド交通の運行前とそれほど変わりなく営業できている様子なので、あまり支障はなさそうである。その兼ね合いを見ながら、デマンド交通の利便性を高めていけたらよいと思う。
(2)	民間交通事業者の方は、デマンド交通が入ってもそれほど変わりはなかったという声がある。その点は安心したので、そちらにあまり支障のないように改善策ができたらお願いしたいと思う。
(3)	民間交通事業者としては、今のところは影響がないというよりも、今後、運行区域が広がっていけば、当然、影響は出てくると思う。
(4)	市内全域を、365日いつでも走れるようになつたら、民間交通事業者がみな撤退してしまう。その危険性をはらんでるのを知りながら、運行し始めたはず。
(5)	売り上げが大いに下がった業者があることを忘れないでいただきたい。 利用実績が1番多い済生会栗橋病院への運送は、デマンド交通運行前は、タクシーがやっていた。デマンド交通とタクシーでは、値段的に全然勝負にならない。
(6)	業者から言うと、全部デマンド交通を使っていただくとなると、タクシー事業の方がどうにもならなくなってしまう。 民間交通事業者は、駅までの仕事がなくなれば、撤退せざるを得ない。タクシーが地元にないと、タクシーを呼ぶのに20分位はかかるてしまう。このため、バランスを考えていただきたい。
(7)	デマンド交通は、税金、市の予算を使って動く訳であるから、当然のことながら費用対効果であるとか、交通弱者に対する福祉としてのサポートと言う形で、タクシーやバスの事業者にできるだけ不利益のない形で運行するというのが、希望の考え方である。
(8)	デマンド交通は、公共交通であることを考えれば、タクシー事業者や市内循環バスを運行している事業者の事業を奪う機会を、我々が今ここで話し合いをしているということを念頭において、話を進めていただきたいと思う。 市が、サービスすればするほど税金が掛かり、交通事業者がいなくなってしまうと本末転倒である。 デマンド交通が運行されて乗客数が大幅に減少したのが1件、乗客者数が多少減少したのが3件。これ合わせると50%になる。そういうこともきちんと理解した上で、この地域公共交通会議で議論したい。 委員の皆さんには、バス事業者・タクシー事業者にとっても良い、デマンド交通を運行する市にとっても良い、そして、それを利用する市民にとっても良いことを、さらなる進展を目指して、今後の地域公共交通会議にしていただけたら良いと思う。

4 運営に関すること	
(1)	久喜市がやっている事業として、運営面などがどうなっているのかを聞いてみたい。
(2)	<p>アンケート結果では、「もっと安くすべき」、「12時の便も運行して欲しい」、「24時間運行して欲しい」などの意見があり、人間の欲というのは計り知れない。どこかでブレーキをかけながら行かないと、市としても経費がいくらあっても足りなくなってしまう。</p> <p>本当に慎重に石橋を叩きながら運営していくかないと痛感した。</p>
(3)	デマンド交通の利便性を高めるため、病院、駅、市役所なども含めると、今利用している方々が、もっと予約が取れなくなってしまう形になる。便数を増やすには、お金が掛かる。この会議でしっかりととした形に決めていくことが必要だと感じる。
5 周知に関すること	
(1)	未登録者の方で目立つのが、デマンド交通がどういうものかを知らないということ。 周知方法を改善することが必要ではないか。
(2)	他のデマンド導入地域の様子をみると、デマンド交通をタクシーだと思って使正在する方が結構いらっしゃる。利用される方に、そうじゃないってこともPRしていかなければならぬ。
(3)	久喜市やタクシー業者、バス業者は、それぞれの事業をもっとPRしてはどうか。デマンド交通とタクシーやバスの運行内容が、こんがらがっているお年寄りもいる。